

領域:看護部

医療シース;安全な三方活栓



医療シース提案部門
滋賀医科大学 附属病院 看護部

「開閉ミスを防止し安全性を高める」

■看護部ホームページ

<http://sumsnurse.es.shiga-med.ac.jp/>

■ニーズの背景

- ・三活の使用では、開閉ミスによる事故が報告されている。
(PMDA 安全情報 <https://www.pmda.go.jp/files/000209346.pdf>)
- ・現在コック/バーの位置で視覚的に確認する方法がとられているが、確認できていたつもりでも不完全な場合がある、そこで、確実に開閉が確認出るとようなアイデアが求められている。

■現在の対応方法

- ・三方活栓のコックの向きと流路の確認を徹底する
- ・三方活栓の構造を理解する

■使用頻度や市場性(マーケットサイズ)に関する情報

- ・三方活栓を含む国内医療用ディスプレイ製品汎用品市場
(メーカー出荷金額ベース、全52製品):2,504億47百万円
(2018年度)(前年度比0.9%増)((株)矢野経済研究所)

【イメージ・参考例】 現状の三方活栓



機能アイデア例

- ・バーの向きを変えたときに、視覚的にも物理的にも確認できる。
- ・切り替わった場合にはバーにロックがかかる仕組み。

お問合せ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携係

電話: 077-548-2847

メール: hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp